

## ジェットスター・ジャパン 2025 日本万国博覧会誘致委員会オフィシャルサポーターとして 特別塗装機「2025 万博誘致ジェット」を就航

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、2025 年の大阪・関西万博の実現に向けた誘致活動に賛同し、2 月 19 日(月)に 2025 日本万国博覧会誘致委員会のオフィシャルサポーターとなりました。国内外に万博誘致活動の認知向上を図り、大阪・関西のみならず全国での誘致機運のさらなる醸成に貢献するべく、本日 28 日(水)より 2025 日本万国博覧会誘致 特別塗装機「2025 万博誘致ジェット」の運航を開始しました。



ジェットスター・ジャパン代表取締役社長の片岡優は次のようにコメントしています。

「このたび、2025 年日本万国博覧会誘致委員会のオフィシャルサポーターとなり、特別塗装機を運航できることを大変光栄に思います。2007 年、グループ会社のジェットスター航空が、日本を発着する初の LCC 定期便として大阪に就航しました。昨年からは、ジェットスター・ジャパンを含めジェットスターブランドの航空会社 4 社全てが大阪に乗り入れています。ジェットスターグループとして 10 年以上運航している大阪は、グループ内でも戦略的な重要拠点として位置づけており、今後も関西路線の拡大を目指してまいります。大阪・関西地域はもちろんのこと、国内・海外を含む各就航地での誘致活動に微力ながら貢献してまいります」



2025 日本万国博覧会誘致 特別塗装機「2025 万博誘致ジェット」の前で(2018 年 2 月 28 日午前 11 時 10 分頃撮影)

2025 日本万国博覧会誘致委員会事務局長の榮野正夫氏は次のようにコメントしています。

「大阪・関西では、鉄道、モノレールをはじめ、あらゆるところで誘致ロゴマークがみられるようになり、誘致機運の高まりを実感しております。この盛り上がりを全国的に普及させていくことが誘致実現に向けて重要であり、ジェットスター・ジャパンの機体に大きくデザインされた誘致ロゴマークを日本全国のみならず世界の方々にご覧いただくことで誘致機運の醸成がさらに高まると期待しています。今後も、政府、経済界、地元自治体など関係者皆様との連携をさらに深めてまいります」

日本の LCC として国内線最大シェア(注)を擁するジェットスター・ジャパンは、「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして今後も路線網やサービスのさらなる充実を図りながら、地域との交流や振興を推進してまいります。

(注)出典:国土交通省「特定本邦航空運送事業者に係る情報(2018年1月発表)  
国内線マーケットシェア:51%(RPKベース:平成28年10月~平成29年9月)



2025 日本万国博覧会誘致 特別塗装機「2025 万博誘致ジェット」(機番:JA01JJ)

#### 【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012年7月より日本国内線を就航し、2015年2月からは国際線の運航も開始しました。現在、国内12都市・17路線、国際4都市・9路線を21機のエアバスA320型機(180人)で1日約100便を運航しており、国内線就航から2,300万人以上のお客様にご利用いただいています。ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。 <https://www.jetstar.com>